

(様式1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県ソフトボール協会]

[記載日：令和 7年 3月10日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	—
※対象外	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
当協会規約等を遵守している。 団体として組織を備え、多数決の原理が行われ構成員の変更があったとしても団体として存続する。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
当協会が公共施設を使用して行う競技大会やイベントなどを開催する場合における当該施設の使用に係る規則や、開催地市町村が定める安全管理に関する条例等は遵守している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
当協会規約等を整備している。 当協会に代表理事として理事長、業務執行理事として副理事長5名と常任理事49名を置き、そのほか理事134名の理事を選任している。監事3名を置き、業務運営全般に関する監査を実施している。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
<p>規約において、基本方針（目的及び事業）を策定し、協会ホームページで公表している。</p>	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>支部長会、常任理事会等においてコンプライアンス教育を実施している。 加盟団体ガバナンス向上研修会に事務局職員が参加した。 ホームページにて「No!スポハラ」「ハラスメント防止動画（日本スポーツ協会HP）」のリンクを掲載するとともに、暴力行為根絶の取組み意思を示す取組みを行なっている。</p>	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>指導者講習会や伝達講習会等においてに指導者、競技者に対し、コンプライアンス教育を実施している。 各種大会の監督会議等において、スポハラ防止の資料などを配布し徹底のお願いをしている。</p>	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
<p>規約及び会計規程に基づき、予算執行に当たっては、二重のチェック体制を確保するとともに適正かつ公正な会計処理に努めている。</p>	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
<p>当協会が補助金等の交付を受ける団体の補助金規則、関係規程等を遵守し適切に処理している。長野県からの補助金については、県の監査を受けている。</p>	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
<p>規約及び会計規程に基づき、予算執行に当たっては、二重のチェック体制を確保するとともに適正かつ公正な会計処理に努めている。</p> <p>監査員3名を置き、業務運営全般に関する監査を行っている。</p>	
<p>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</p>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
<p>ガバナンスコードの適合状況に関する自己説明の公表を役員会で適合状況や評価の確認を行い、3月の総会を経た後、ホームページ上で公表していく。</p>	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
<p>当協会規約等に基づき、当協会ホームページや広報誌等で情報公開及び提供を行っている。</p>	
<p>原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</p>	
<p>自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)</p>	
原則■について	—
<p>※対象外</p>	
原則■について	—
<p>※対象外</p>	